

11月・12月の管理ポイント

 ホームページアドレス
<http://www.tomo-green.com/>

第66号

11月は芝生が休眠に備えて貯蔵養分を蓄える時期です。タップリと糖を補給してやりましょう。またコーティング剤との組み合わせで耐寒性・耐凍性・耐乾性を増強させましょう。



グリーンメカ

来春の萌芽期を乗り切るには...

11月の中旬までにグリーンメカを散布しておく(5ml/m²散布)

芝生の貯蔵養分(糖類)として蓄積される

耐寒性・耐凍性が増強される

来春の萌芽期は均一に芽出します。



コ・エンザ

芝生の色だしには...

晩秋(低温時)にかけて色落ちしていく時期に補酵素の働きで植物内の活性を高めます。

グリーンメカとの組み合わせで植物内に溜まったN成分を速やかに消費させ、根に貯蔵養分が蓄積されやすい条件にしてやりましょう。

また、サッチ処理により、堆積したサッチが焼けたようになり、その後サッチング作業をした時、サッチの有機残渣がが取れやすくなります。

使用量：0.5～1.0g/m² 0.5～1.0^{1/2}g/m²散布


カラーメイトプロ・オーダーグリーン

好きな色をお選びください...

カラーメイトプロ：元の芝生の色を浮き立たせるタイプで自然な緑色感が特長です。

オーダーグリーン(NO.20、50、70、90)：明緑～暗緑までお好みのタイプを選んで頂けます。

両剤ともリーフシールドの加用(150～200倍)により、霜融けを早めることができます。

使用量：カラーメイトプロ 200～400倍 100～300ml/m²散布オーダーグリーン 50～100倍 150～300ml/m²散布


リーフシールド

アクアトロールス社品

芝生の耐乾性・耐寒性を高めるには...

リーフシールド処理により、葉面をコーティングし蒸散を抑え、葉面温度が下がるのを軽減します。

蒸散を抑えることにより乾燥からも守ります。

着色剤との組み合わせにより、葉面温度が上昇し霜が早く溶けます。

使用量：200倍 150～200ml/m²散布